

キャラクター名
緋暮 伶俐 (ひぐれ れいり)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー ハヌマーン		ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	16歳	性別	女
覚醒	死	衝動	飢餓	初期侵食率	32	%
出自	権力者の血統		経験	逃走	邂逅	保護者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	3	1	0			4	行動値	6
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	6
精神	2	0	2			4	戦闘移動	11
社会	2	0	0			2	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
▼コン・フォーコ	RC	4r+4		13		コン100%未満。C値8。装甲無視
▼アレク・コ・コン・フォーコ	RC	4r+4		38		コン100%以上。C値7。装甲無視

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
【日用品】	
携帯電話	
【コネ】	
コネ：噂好きの友人	
情報収集チーム	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリス	消費
教育者	P 好奇心	N 恥辱		
ジャーム	P 幸福感	N 疎外感		
霧谷雄吾	P 信頼	N 憤懣		
八軒深冬	P 友情	N 不安		
水月咲	P 誠意	N 嫌悪		
近野夏希	P 親近感	N 恐怖		
リベンディートリ	P 執着	N 敵愾心		

最大財産P: 8 残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンソレイト：火蜥蜴	2	2	Xジャー	-	-	SD	-	
効果:	C値を-Lv（最低7）							
灼熱の砦	3	3	Xジャー	-	-	SD	-	
効果:	攻+Lv×3。移動時使用不可							
焦熱の弾丸	1	1	Xジャー	視界	-	RC	-	
効果:	攻+Lv+2の射撃							
振動球	1	3	Xジャー	視界	-	RC	-	
効果:	攻+Lvの射撃。装甲無視							
プラズマカノン	3	4	Xジャー	視界	単体	RC	100↑	
効果:	攻+Lv×5の射撃							
熱感知知覚	★	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	熱で物体や感情などを感知							
軽功	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	壁や水面も走行可能							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

◇プロフィール
 県立N高校二年生。裏の世界のことなど何も知らない普通の少女。
 去年の夏、UGNの包囲網から逃げ出したジャームに襲われたことにより実は世界の真実に接触はしている。しかし記憶処理が施されたため野犬に襲われた程度の認識しか残っていない。
 その際、彼女の家の格好が重視されたのか、たまたま都合が合っただけなのか、調査に訪れた霧谷雄吾を顔を合わせている。ほんのすれ違っただけのような邂逅だったが、彼からは実父には感じたことのない父性のようなものを感じ、印象に残っている。

八軒深冬は小学校の頃からの幼馴染で、中学の頃は一緒に進学先を選ぶほどに仲がよかった。しかし受験に合格し念願の高校に共に入った一年目、お互いに生活環境が変わり、クラスが分かれ、部活動も違うという単純な理由でやや疎遠になる。二年に進級して同じクラスになれたものの、一度空いてしまった距離の詰め方がわからず、やきもきする日々が続く。だからこそ深冬と一緒に帰れないかと誘われたその日、お稽古事をすべてキャンセルして予定を合わせるほど浮かれたのだが……。

生家はオランダ貴族の血筋を引くという名家であり、地元では警察にも顔が利く権力者。彼女もその血が先祖がえりを起こしたのか、日本人離れした鮮やかな赤毛に碧眼という容貌でこの世に生を受ける。それが母親の不義の噂に繋がり、彼女が物心ついたときには母親と二人、離れて暮らしていた。父親は顔が曖昧なレベルで交流が無い。しかし何かの手駒にはなると判断されたのか、幼少のころから家庭教師がつけられる。その影響で話し方がどこか格好よかったものになっている。一方で期待はあまりされていないらしく、私立ではなく公立の学校に通うことが黙認されている。まあ、そちらの方が伶俐本人としても都合がいいのだけれど。

容貌は遠い先祖から受け継いだのに身長は遺伝しなかったらしく、小学生並みの体型なのがコンプレックス。

◇口調